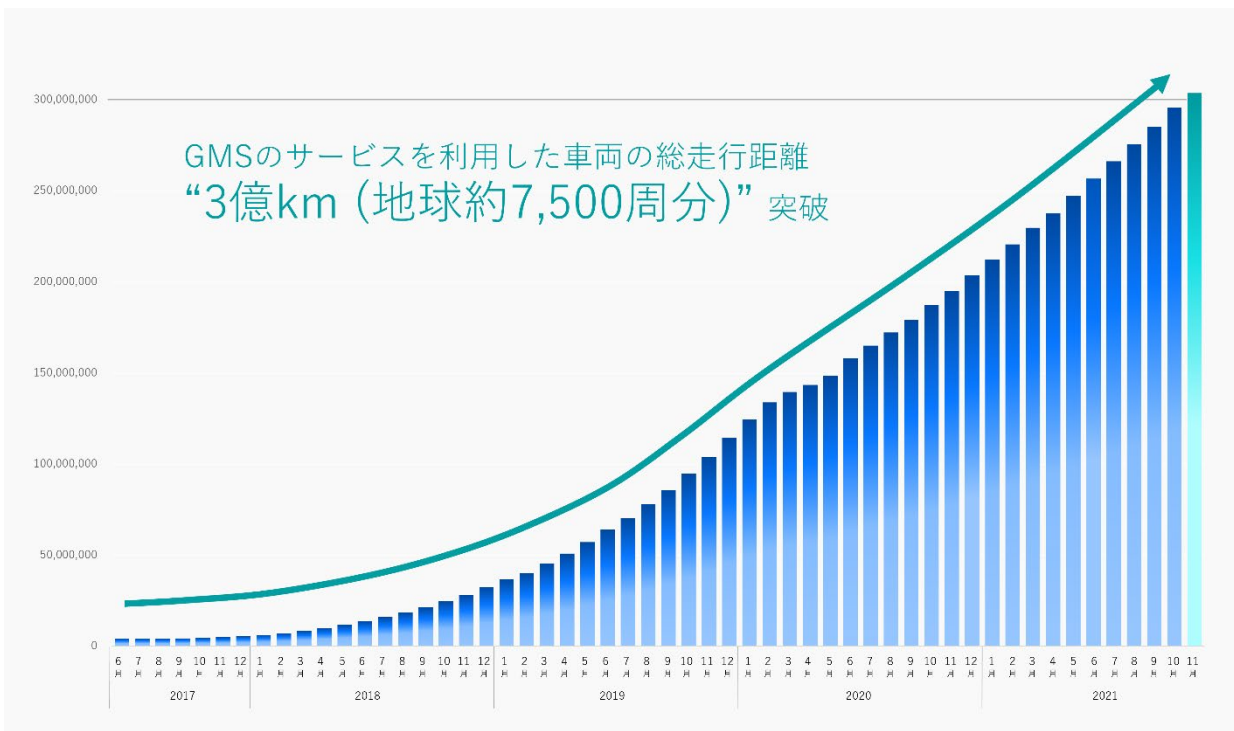


世界でGMSのFinTechサービスを利用した車両の総走行距離

“3億km（地球約7,500周分）”突破

<https://www.global-mobility-service.com/>

自動車を所有できない世界の貧困/低所得層 約17億人に向け、IoT技術を活用した信用創造サービスを提供する金融包摂型FinTechベンチャー・Global Mobility Service株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：中島 徳至 以下「GMS」）は、GMSのFinTechサービスを利用した車両の総走行距離が“3億km（地球約7,500周分）”を突破しましたことをお知らせいたします。



これまで貧困や低所得のために金融サービスにアクセスできず、働くために車が必要であるにもかかわらず購入できなかった多くの人々が、GMSのFinTechサービスによって初めて車を所有することができました。“3億km”という数値は、新型コロナウイルス感染症の影響が長引く中でも、ドライバーの皆様が諦めることなく、日々真面目に働いてきた証です。新型コロナウイルス感染症が少しずつ収束に向かい各国の経済活動が再開していく中で、ドライバーの皆様の伴走者となるべく、GMSは今後も事業成長を加速してまいります。

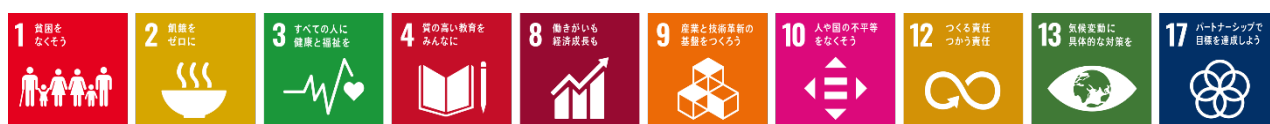
<本件に関する報道関係者のお問い合わせ先>

Global Mobility Service株式会社 担当：大久保、小原

電話：03-6264-3113/FAX：03-6264-3322/E-mail：[press@global-mobility-service.com](mailto:press@global-mobility-service.com)

GMS は、今後も、SDGs の中でも最重要課題とされる「貧困」などの社会課題を解決する中に経済合理性を創出し、真の意味で「サステイナブル」なビジネスモデルを日本及び ASEAN 諸国でより一層推進してまいります。GMS の取り組みの様子はこちらの映像をご覧ください (<https://youtu.be/Of8idL5huhA>)。

これからの GMS の取り組みに、どうぞご期待ください。



※ プレスリリースに掲載されている内容、資本関連、サービス、お問い合わせ先、その他の情報は、発表時点の情報です。その後予告なしに変更となる場合があります。

### ■ Global Mobility Service 株式会社の概要

GMS は「真面目に働く人が正しく評価される仕組みを創造する」をビジョンに掲げ、世界の貧困/低所得層 約 17 億人の信用創造を行う金融包摂型 FinTech ベンチャーです。自動車の遠隔起動制御技術を搭載した IoT デバイス「MCCS」で収集した車両データ（走行状況、速度等）と金融機関と連携して取得した金融データ（支払い状況等）を分析することで、ドライバーの信用力を可視化し、従来の与信審査には通過できなかった方へ、ローンやリースなどの金融サービスを活用する機会を創出します。

日本国内及び ASEAN 諸国（フィリピン/カンボジア/インドネシア）において低所得層の就業機会を創出する社会課題解決型のビジネスモデルが評価され、2020 年 10 月時点で累計約 56 億円の資金調達を実施しています。貧困などの問題を解決する中に経済合理性を創出したビジネスモデルにより、豊かな社会の実現に向けて、国際社会に貢献してまいります。

会 社 名	Global Mobility Service 株式会社
代 表 者	代表取締役社長 中島 徳至
所 在 地	東京都港区芝大門 1 丁目 12 番 16 号 住友芝大門ビル 2 号館 4 階
事 業 内 容	モビリティサービスプラットフォームの提供 クラウド上に蓄積したビッグデータの二次活用サービス
設 立 日	2013 年 11 月 25 日

®登録商標 GMS、MCCS、MSPF は登録商標です。

<本件に関する報道関係者のお問い合わせ先>

Global Mobility Service 株式会社 担当：大久保、小原

電話：03-6264-3113/FAX：03-6264-3322/E-mail：[press@global-mobility-service.com](mailto:press@global-mobility-service.com)